

# 心の病抱える人 再び応援

# ラジオで「元気」届けます



「こころのボイスマガジン」の収録でゲストと対談する  
広田和子さん(左)―東京都港区のラジオNKKKEIで

協力団体の財政危機で昨年九月に打ち切られていた精神障害者向けのラジオ番組が、六月から再開される。自ら心の病を抱える女性パーソナリティーの人柄に、勇気づけられたというリスナーたちから復活を望む声が相次いでいた。再開後は難題の「精神障害者の就労支援」にも新たに取り組むという。番組関係者は「聴く人が働いてみようと思っ番組にしたい」と意気込んでいる。

(築山英司)

## 難政打ち切り 全番組 リスナー後押し 2日復活

「こころのボイスマガジン」の収録でゲストと対談する  
広田和子さん(左)―東京都港区のラジオNKKKEIで

この番組は、ラジオNKKKEI(短波放送)の障害者就労支援事業所連合「こころのボイスマガジン」(東京)が、新しく協力団体になり、番組再開が決まった。

同連合会の楠谷肇事務局長は「本人が働きたくても周囲が『再発する』と引き留めたのがかつての主流だったが、働くことで元気になることも多い」と言う。昨年四月に、企業の法定雇用率の算定対象に精神障害者を加えた改正障害者雇用促進法などが施行され、働く精神障害者を増やす狙いもある。

当初の番組は二〇〇二年七月、財団法人の全国精神障害者家族連合会(全家連、解散)の協力でスタート。ゲスト対談などで現れる広田さんのほんわかした人柄や率直な物言いに人気が集まり、月一回の放送で「励まされた」という便りが多かった。広田さんがリスナーとの直接面談に出向いたこともある。

「こころのボイスマガジン」の収録でゲストと対談する  
広田和子さん(左)―東京都港区のラジオNKKKEIで

「こころのボイスマガジン」の収録でゲストと対談する  
広田和子さん(左)―東京都港区のラジオNKKKEIで

「こころのボイスマガジン」の収録でゲストと対談する  
広田和子さん(左)―東京都港区のラジオNKKKEIで